



竹松ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和6年 5月31日
大村市立竹松小学校
発行 石司 貴弘



竹松っ子が輝いた 運動会

今年の運動会が間もなく終了しますが、楽しむことはできましたか？竹松小学校の今年のスローガンである

「協力して かがやく5色の虹をつくろう」は、今この場所にいるみなさんのおかげで完成することができました。

このように、運動会を無事に開催できて、私たちが笑顔で終えることができるのは、PTA会長様をはじめとする役員のみな様、先生方、保護者のみな様が準備をしてくださったからだと思います。そして、たくさんの声援と拍手を贈っていただき、ありがとうございました。

今日、この一致団結した気持ちを忘れることなく、まっすぐに前を向いて歩いていきたいと思います。

児童代表 6年5組 水口紗寿

仲間と協力してやり遂げた達成感や充実感、支えてくださる方への感謝、そしてこれからの自分の目標（意気込み）を伝える紗寿さんの言葉です。その健気で美しい言葉が胸に響き、涙があふれてきました。

短い練習期間の中で、自分たちの競技の練習だけでなく、応援や各係の仕事の打ち合わせなど、実に多くの仕事がありました。下級生に応援の仕方を教えることは、予想以上に大変な仕事で、くじけそうになる子どももいました。しかし、そんな時に支え合えるのはやはり同じ6年生の仲間です。下級生を誉めたり、励ましたりしながらやる気を高めさせ、成功に導きました。6年生の子どもたちのリーダーとしての仕事ぶりは、実に見事でありました。

紗寿さんの言葉は「まっすぐに前を向いて」と締めくくられています。卒業まで、力を合わせて竹松小学校を引っ張ってくれるものと、大いに期待が膨らみます。こんな言葉を聞かせてもらうと、大人もがんばらないわけにはいきませんね。こんな素晴らしい子どもたちのためならば、少々の困難は乗り越えられそうです。子どもたちからたくさんのことを教えられた運動会でした。

前の週からお仕事や家事の都合をつけていただき、たくさんのテント設営、風対策の土嚢作り、駐輪場などの整備、当日の交通整理と、ご協力をいただきました保護者のみな様方に心からのお礼を申し上げます。ありがとうございました。

運動会で発揮された竹松っ子の輝き

- ☆がんばる仲間への心からの応援・協力 … やさしさ
- ☆先を見通し、教師の指示なく自分で動く … かしこさ
- ☆勝負に関係なく、力いっぱい走る・踊る … たくましさ

「運動会はただのお祭りにあらず」…当たり前ですが、学校職員は運動会を通して子どもをどのように育てるのか、目標をもってかかわっていきます。今年は春の実施としましたので、去年までとは少し違って、「学級や学年のまとまり」「一つの目標に向かう団結」を促す意味合いが大きくなりました。それぞれの学年・学級において子どもと教師が共に汗を流し、取り組んでまいりました。



当日に子どもたちのよさを発揮させるためには、当然ながら練習を重ねる必要があります。練習は、楽しい・おもしろいものだけではありません。集団での機敏さ、そろった(まとまりの)美しさ、力強さなどを表現するために、それなりにきつい練習もあります。学校職員は、子どもたちの様子に目配り、気配りをしながら励ましてきました。なぜ、そうするのか、そのように動くことにどんな意味があるのかを伝え、子どもが納得して動けるように関わりました。本校職員の指導と、それに応える子どもたちの動きが呼応しあい、すばらしい運動会になったと自負しています。



運動会の内容、運営等においてご意見・ご感想をいただければ幸いです。

学びの構え(かまえ)



ある教室での授業が始まる数分前の様子です。机の上には、その時間の学習に必要な物がそろい、すぐに始められる状態です。すばらしいことに、これは担任による`指示`でやっているものではありません。

☆何をするのか ☆何が必要なのか を理解している子どもが、自分で考えて準備しているのです。言われてするのか、自分で先を見てするのか、その違いは改めて言う必要はないでしょう。「主体的な学び」という言葉がありますが、竹松小では始まる前から心が学びに向かい、どんどん力を伸ばす子どもたちが増えています。